



## 細木 病院

# 災害救護訓練開催 ～救護病院の責務と訓練の歩み～

### はじめに

近い将来発生が懸念されている南海トラフ巨大地震想定的全面的見直しが、10年ぶりに公表されました。死者は29万8,000人に推定され、今後30年以内に発生する確率は「80%程度」とされています。この南海トラフ巨大地震は最大マグニチュード9クラスで、激しい揺れと大津波が「超広域」に及ぶのが特徴的です。

### 災害救護病院として

当院は社会医療法人として、救急医療・災害医療・へき地医療など、地域に必要な医療を提供する責務を担っています。災害発生時には救護病院として周辺の医療機関と連携し、迅速な医療救護活動を求められます。

令和7年10月、高知市保健所主体で近隣病院と連携し、災害医療救護訓練に参加予定。これに向け、地震を想定した災害対策マニュアルの改訂を実施。その実効性を検証するため、令和7年3月16日に災害救護訓練を実施しました。

### 訓練開催に向けて

大規模災害対策委員会のもと、災害救護訓練の実働部隊としてワーキンググループを立ち上げました。日本DMAT（災害派遣医療チーム）、高知県DMAT、災害救護派遣経験者、災害支援ナースなどのメンバーで構成され、災害マニュアルの検証を目的に、訓練シナリオ作成、タイムスケジュール策定、配置決定、必要備品整備と並行して災害研修も企画しました。

災害研修では「災害時の心構え」「災害時の情報収集記録・共有（クロノロジー）」について日本赤十字高知県支部中野氏を講師に迎え、災害発生時の基礎を演習も交えて学びました。そしてトリアージ（一人でも多くの傷病者を救うために治療優先順位を決定する）訓練を行いました。また災害隊本部要員を対象に災害本部訓練の研修を行いました。

### 訓練当日

あいにくの雨により搬送に制限がありましたが、

- 自身の安全確保
- 各部署のアクションカードを活用した初期対応
- 災害本部立ち上げ、被災状況報告
- 傷病者受け入れ宣言、トリアージエリア設置、活動展開

以上の内容で訓練を実施。事前の研修および訓練の成果を十分に発揮しましたが、災害対応の7原則（CSCATTT）の「C: 情報伝達、A: 評価、T: 搬送」に混乱が生じました。通信環境寸断を想定し紙ベースでの運用を行いました。院内の棟が分かれていることからトランシーバーの活用に向けた習熟の必要性を痛感しました。

### 訓練後の振り返り

災害ワーキングメンバーによる訓練結果の検証を実施。今後の災害対応レベルをさらに向上させるための課題整理を行い、10月の高知市災害訓練に反映する予定です。

（災害救護ワーキング副ワーキング長 柏井早生吏）



トリアージ研修の様子



本部で指示をする細木院長



患者を搬送するスタッフ



時 事  
エッセー

# 高知医大2代目学長の思い出

高知大学医学部は、今から47年前の昭和53年、高知医科大学として開設された。初代の平木潔学長と共に、前年に岡山大学から俵寿太郎先生が高知医大開設準備室に赴任された。岡山大学第三内科にいた私が、昭和53年春に帰省して、父の三愛病院を引き継いだときであった。その後、俵先生は平木先生の後任として二代目学長になられた。

私が若かった頃、高校時代の親友と時々集まって楽しんでいたときに、何かの機会に偶然、俵先生と一緒にするチャンスがあった。先生の親しみやすいお人柄と話術に、すっかり虜になってしまって、私たちの仲間のように一緒に食事しながら、その時々いろいろな話題に、人生の大先輩として、ご指導、ご助言を頂戴した。そのうち、先生は、山形名産のサクランボを取り寄せてくれたりして、まるで私たちの高校担任の先生のように、一緒に楽しんで懐かしい思い出が蘇った。

そして、私の高校時代の大親友に宛てた平成

4年の先生からの手紙には、準備室長から学長となり、足掛け17年間も、医大の発展に寄与され、男冥利に尽きる仕事で、やり甲斐もあったと書かれていた。加えて、高知の方々の良き県民性に恵まれ、各界の方々との多くの親交を得て、お酒も飲めるようになり、食べ物も豊富でおいしいし、高知の生活にすっかりなじんで、何一つ不満がなかったと書かれていた。

土佐藩は、岡山の池田輝政の計らいで、実子のなかった山内一豊没後、弟、忠義が2代目を継いでいるし、輝政の葬儀には、土佐藩から甲冑団が赴き、遺品の名刀をもらっている。

三代目の忠義には、池田光政の妹、長姫が嫁ぎ、この夫婦は、至って仲が良く、墓は並んで立っている。このように、岡山と土佐は、不思議な縁で結ばれている。俵先生の高知での足跡と友情を思い出し、岡山との密接さを、先生の手紙に教えていただいた。今の細木病院の信吾院長も岡山には大変お世話になっているのも、何かの縁だなあ。



仁生会理事長  
細木 秀美

細木病院

## 腎臓について知ろう！ 第1回腎臓病セミナー開催

3月8日(土)細木病院新館地下1階講堂において、第1回腎臓病セミナーが開催されました。1回目ということで「腎臓を守るためにできること」をテーマとし、糖尿病内科内分泌科の西岡達矢医師と宮崎和理学療法士による講演がありました。西岡医師からは「慢性腎臓病(CKD)入門」と題し、腎臓の働きや腎臓病について詳しくお話しいただきました。宮崎理学療法士からは「たっすいがでもかまんがかよ～運動習慣の理想と現実～」と題し、運動習慣を身に付けるコツや運動内容について実



西岡医師による講演

技も交えてお話しいただきました。また、医療相談、お薬相談コーナーではパンフレットを用いての指導が行われ、運動の相談コーナーでは体を一緒に動かしたり個人に合った運

動のアドバイスがありました。栄養相談コーナーでは減塩や低たんぱくご飯の試食コーナーもあり「塩分少なめでもおだしがきいておいしい」との感想が聞かれました。



宮崎理学療法士による実技指導

初めての試みであり不安もありましたが、参加者より「勉強になりました」や「継続してやってもらいたいです」とお声をかけていただき、うれしく思いました。来年も3月にセミナーを開催したいと考えています。よりわかりやすく、参加いただいた皆さんが楽しめるセミナーを目標にスタッフ全員で取り組んでいきたいと考えております。来年も多くの方の来場をお待ちしています。

(外来看護師 池美帆)



細木病院

# 歯科リニューアルオープン！



歯科の新ロゴが目を引く入り口

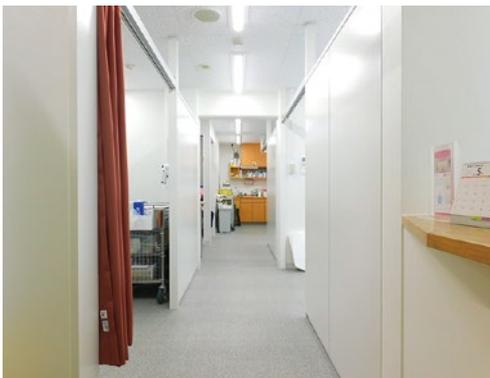
リニューアルオープンしました。スタッフ一同、新しい診療室で皆様をお迎えすることができ、大きな喜びで満たされています。

これまで手狭でした「歯科待合室」が広くなり、患者さんやご家族の方に心地よく過ごしていただける空間となりました。診療室は個室スタイル、バリアフリーです。

当科の診療特徴は、お口の中のトラブルの再発防止のため、治療とともに食生活についてアドバイスしています。ブラッシングといった、「手技」も大切ですが、骨や歯肉、歯の土台は「何か」も大切です。食・生活習慣の見直しは耐震工事に似ています。必ずやってくるといわれる南海トラフ地震（必ず加齢します）でどのくらいの被害を被るか（病気の重症度）は分かりませんが、その予防として、耐震工事（生活習慣の見直し）をしましたので、ひとまず「安心」です。

問診で、皆様の食生活や、生活習慣や傾向を知ることが治療上とても大切と考えています。

メキシコにいた際、医科の先生が、治療の際に、食生活のアドバイスをしてくれました。古代ギリシャの医師ヒポクラテスの名言「汝の食事を薬とせよ、汝の薬は食事とせよ」を思い出しました。どうして、「あれは良い、これは良くない」と言うのだろうと思いました。

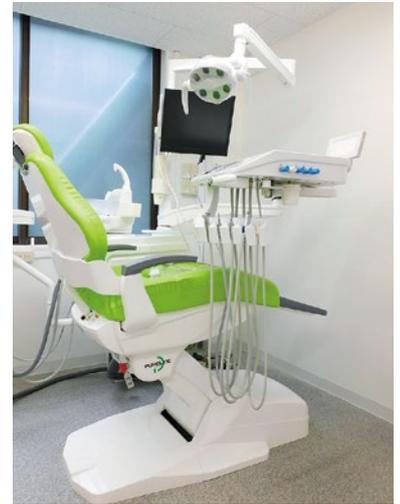


各部屋にアクセスしやすい通路

細木病院北館（こころのセンター）耐震工事に伴い、仮診療室で診療していた歯科は、1年2カ月ぶりに元の診療室に戻り、5月2日（金）リ

代から生理痛が重く、大学6年から、皮膚アレルギー症状が年々悪化していました。食生活の改善後、生理痛は皆無。分子栄養学を勉強してからは、皮膚アレルギーは随分と改善され、アルコール手指消毒でも手の皮膚は割れにくくなりました。食生活の見直しは体を作り直すことと感ぜず。必要な栄養が入ると「体感」が得られます。もちろん、十分な「栄養」はお口の中にも好影響を与えます。

幸いにも、「食べるもの」と「習慣」は気持ち1つで、変えることができます！そんな歯科へぜひお越しください。お待ちしております。



個室スタイルの診療室



ゆったりくつろげる待合スペース



こころのセンター(北館)

(歯科医師 細木弓子)



細木病院

## 事務部長に就任しました



事務部長  
門田 紘和

2025年4月より事務部長に就任いたしました門田です。まずは、このような大役を任せただけなことへの感謝とともに、その責任の重さを深く感じております。2013年の入職以来、総務業務や臨床研修医の事務局業務、経営指標整理などの基盤業務を担当し、2018年には企画課創設時に初代課長として、新しい仕組みづくりに挑戦

しております。

病院が地域の皆さまにとって信頼される存在であり続けるためには、思いやりのある質の良い医療を提供することが不可欠であると強く感じております。

そのためには、事務部門全体を統括する立場として、これまで培った経験と知識を生かしながら、職員の働きやすさの向上とその能力が最大限に発揮できる環境づくりにも注力したいと考えております。また、当院の理念である『患者さんから、地域からも、職員からも“この病院でよかった”と心から思ってもらえる病院を目指します』にあるように、**患者さん、地域、職員の3つの視点で貢献できるように、事務管理の強化、病院全体の連携強化にも取り組む**所存です。

今後とも皆さまのご指導、ご支援を賜りながら、一層努力してまいりますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

してまいりました。その後も、仁生会の5か年計画や四国病院経営プログラムへの参加を通じて、多角的な視点から病院経営の知識とマネジメントスキルを磨き続けて

細木病院

## 医療技術部長に就任しました



医療技術部長  
藤本 弘昭

この度、医療技術部長を拝命いたしました、藤本と申します。職種は理学療法士です。

細木病院には呼吸器リハビリテーションを極めるべく平成6年3月に入職し、平成20年からは部署管理の命を受け、振り返ると30年以上お世話になっております。今まではリハビリテーション管理を中心に担っておりました

り、身の引き締まる思いとともに不安でもあります。放射線室、臨床検査室、栄養管理室、リハビリテーション課、精神科作業療法室、臨床工学室、臨床検査室、歯科衛生室の職員と、**ともに学び、ともに分かち合い、ともに前**

**へ進める関係性を構築**し、患者さんや地域の皆さまに還元できるように精進していきたいと考えております。医療技術部の職員は表立った舞台に立ち、患者さんと直接関わり合える職種ばかりではありませんが、「この病院をよくしていこう」、「患者さんへのよりよいサービスを提供しよう」という信念は、総勢183名の医療技術部全職員一様に熱いものをもって日々励んでおります。温かくも厳しい目で見守っていただけると幸いに存じます。

簡単ではございますが、就任のあいさつといたします。今後ともよろしくお願いいたします。

が、医療技術部という大きな組織の管理を担うことにな

細木病院

## 四国老人福祉学会第43回大会参加報告

四国老人福祉学会は仁生会が事務局を担い、大会は年に1度、四国4県が持ち回りで開催しています。今回は香川県丸亀市で、『つなぐ～あなたに福祉の魅力を伝えたい～』をメインテーマに3月1日(土)開催されました。私は、パネルディスカッション『多様性社会の福祉現場』に、パネリストとして参加し、ほそぎ診療所が行っている訪問診療と、仁生会グループの認知症対応型共同生活介護における連携の事例を、『訪問診療で支える暮らしの自由』という題で発表させていただきました。三愛病院リハビリテーション科の田島一樹さんも、マルナカ高知インター店さんと協働する健康寿命延伸のための事業

について、『意識変容と継続参加につながる介護予防の実践』として発表しました。

大会長の挨拶では、老人という言葉は「古い」とい

う望ましくないイメージを持たれているが、年を取って徳が高い、経験を積むという意味を持つ敬語でもあるというお話がありました。私は中国ドラマが好きなのですが、中国語でも「老(ラオ)」という字は、経験を積んだ、熟練しているという意味で使われるため、日本語でも同様の意味を持っていると知り、理解が深まる機会となりました。学会で得た学びを、より良い医療の提供と地域貢献につなげられるよう、努めてまいります。2026年度大会は高知県で開催されますので、ぜひご参加ください。



武政さんによる講演



四国老人福祉学会参加メンバー

(細木病院在宅部・ほそぎ診療所 武政華)

細木病院

## ほっこりイラストでおもてなし

通所リハビリテーションゆうゆうでは、入り口の横にイラストボードを設置しています。そのボードの絵は私が描いていますが、通われた患者さんや職員等の目に止まるように工夫をこらしています。

まず、中央のおじいちゃんとおばあちゃんは顔をあえ



ゆうゆうスタッフの沖さん

て描かず、後姿にしています。理由は2人の感情を後ろ姿で感じ取ってもらいたいからです。そして周りの風景は毎月、その月を連想できるイベントや花等を描いています。また遠近法で奥行きを出し

て、2人を遠くから見ている感覚になり、より感情が入りやすいにしています。毎月、中央のおじいちゃん、おばあちゃんを残して、まわりを描き替えています。時々、服が変わったりもします。近くを通りがかった際は、ぜひチェックしてみてください。

(通所リハビリテーションゆうゆう

介護福祉士 沖仁孝)



沖さんのこだわりのイラストボード



No.409

# リレー・エッセー「ナウ・レッツ・ビギン」

Now, let's begin!

仁生会の幹部が毎月リレー投稿しているエッセーです。

## プチ農業のすすめ

私の故郷は、吾川郡いの町の山間地域にあります。長年そこで暮らした父が昨年他界し、実家には父が長年手入れしてきた小さな畑が残されました。

父は亡くなる2年ほど前から体力が低下し、農作業ができなくなっていました。母も高齢となり体調がすぐれず、そんな折から、私は週末に少しずつ実家に帰り母の指示のもと畑を耕したり、種を植えたりと畑仕事をするようになりました。

幼い頃に両親の手伝いをしていた頃は正直なところ、面倒くさいなと思いつつやっていた記憶のほうが強いのですが、土や水に触れたあの感覚は、今でも体の奥にちゃんと残っています。大人になってからは、仕事や日常生活の忙しさにかまけて畑に立ち寄りすることもありませんでした。いざ自分で土いじりを始めてみると、父がいかに丁寧に、手間を惜みず畑仕事をしてきたかが、身に染みて分かるようになりました。もう少し教えてもらっておけばよかったなという後悔の念もありますが、自分には YouTube 先生がついてくれているという小さな自信が静かに胸の中に灯っております。



昨年は、トマト、ナス、枝豆、ニンジンを植えました。ナス、ニンジンは食べられるほどのものはできませんでしたが、初めてはこんなものかなと思っています。今年は、にんにく、そら豆、ジャガイモ、ショウガ、赤キャベツに挑戦しています。

普段は空調の効いた病院で働いているので、お日様の下で汗をかきながら体を動かすことと、その後のビールがこんなにも心地よいものだったかと、改めて感じています。

春には裏山でタケノコ掘りも楽しめます。クワをふるい、土をかき分け、顔を出したタケノコを掘るのは、腰も痛みますが爽快なものです。今年は春前の雨が少なかったせいか実家近辺のタケノコは不作で、ほぼ生えておらず残念でしたが…。

自然の中で体を動かす時間は、心と体をゆるめてくれます。日々忙しい生活を送っている皆さんにも、自然に触れるひとときの清々しさを、ぜひ感じてもらえたらと思います。どこかに眠っている畑をお持ちの方は、気分転換もかねてプチ農業を始めてみませんか？

(医局長・外科部長 尾崎信三)

## 細木病院 接遇が「いいね！」👍 職員紹介 Vol.3

サービス向上委員会の取り組みの一環で、職員を対象とした接遇アンケートを実施しました。接遇が優れているという声の多かった美容皮膚科スタッフにインタビューを行い、普段気をつけていることなどを聞きました。

### 美しさは、心から ～接遇NO.1を目指す 美容皮膚科の挑戦～

美容皮膚科のスタッフ

#### 1. コミュニケーションで意識していること

患者さんの何げない一言や視線にも細やかに気を配り、そこから得られる情報を丁寧に拾い上げています。美容やプライベートに関する話題で共感を深めながら、そのつながりを大切にし、より信頼感のあるカウンセリングへとつなげています。(受付カウンセラー)

#### 2. 患者さんの不安を和らげる工夫

患者様一人ひとりのことを丁寧に把握し、これまでに交わした会話の内容を覚えておくよう心掛けています。こうした積み重ねから、患者様との関係性を築き、安心して施術を受け



ていただくよう接しています。また、施術時等、痛みが生じる時は肩を叩いて痛みを紛らわせるなど、患者様に応じて適切な声掛けや対応を意識しています。(看護師)

#### 3. 接遇向上のための意識

院内外の接遇動画や講習を定期的に受け、接遇のアップデートを行っています。(医師)

#### 4. 美容担当として身なりなど気を付けていること

まず自分自身の肌の土台を整えるためにインナーケア(NMN、ビタミン類の服用、食事、睡眠)をしています。身なりは清潔感を最優先に、素肌感や透明感を出すメイクや、整った髪型を意識しています。「美」を売る仕事だからこそ、自分自身がお手本になれるよう、日々努力しています。(セラピスト)

#### 5. 部署内で取り組んでいること

普段から患者さんに接するのと同じように、職員同士接するよう心掛けています。職員同士の空気感は患者さんへの接遇にも表れていると感じています。「お互いを尊重し合うこと」「話しかけやすい空気づくり」の大切さを実感し、みんなが安心して働ける関係づくりを大切にしています。(スタッフ一同)



令和7(2025)年6月予定			月		火		水		木		金		土
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内 科	1診	中村寿宏 (糖尿病外来)	小野寺真智	中村寿宏 (糖尿病外来)	品原正幸	中川 治	森下美智子 (リウマチ膠原病)	小野寺真智	森下美智子 (リウマチ膠原病)	上村千鶴子	品原正幸	猪狩俊介	
	2診	上村千鶴子		高知大 鈴木穂乃詩	細木秀美 (第4通 予約のみ)	担当医	上村千鶴子 ~16:30	担当医	高知大 楠瀬宗一郎 祐盛湧希	猪狩俊介	高知大 前田理沙	担当医 岩崎泰正	
	3診			高知大 小笠原史也									
内 視 鏡					小野寺真智		小野寺真智						
循環器内科 予約制 ☎088-845-5291			西本美香										
総合診療科				溝淵 俊二									
本館 1階	整形外科 予約制 ☎088-845-5291		高知大 田所伸朗 9:30~12:00										高知大 泉 仁 9:30~12:00
	小児科 小児科の受付 月・水・木・金は午後5:30まで 火は午後5:00まで		橋詰 稔 13:30~15:00 予防接種 (予約制)		高知大 篠田知周・入江未希 (交代)		橋詰 稔 13:30~15:00 予防接種 (予約制)		橋詰 稔 13:30~15:00 予防接種 (予約制)		橋詰 稔 13:30~15:00 乳児健診 (予約制)		橋詰 稔
耳鼻咽喉科			横島悦子	横島悦子			横島悦子	横島悦子	横島悦子	横島悦子	横島悦子	横島悦子	高知大医師
皮膚科			安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美	安井喜美			安井喜美	安井喜美 14:30~ (第3週15:00~)	
精神科 予約制 ☎088-845-5291									高知大 森田啓史				
放射線科			岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎		岩井智郎	岩井智郎	岩井智郎
東館 1階	健 診		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医		担当医		担当医		



令和7(2025)年6月予定			月		火		水		木		金		土	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
小児科 / 内科			松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	定休日	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博	松本和博
整形外科													北岡和雄 (隔週)	

在宅療養支援診療所  
診療科目/内科

## ほそぎ診療所

〒780-0926 高知市大膳町1-25 2階 予約・お問い合わせ ☎080-2990-1279  
診療時間/9:00~12:30、13:30~17:30 休診日/土、日、祝日

**ご存じですか!?** ソーシャルワーカーからのミニ情報

**精神障害者福祉手帳でJR運賃が割引になります!**



令和7年4月1日から、JRグループで精神障害者割引制度が導入されました。これまで高知県の鉄道では、とさでん交通、土佐くろしお鉄道の運賃割引が適用されていました。しかし、全国的な鉄道網をもつJRでは同様の運賃割引制度がありませんでした。この状況を受け、長らく待ち望まれていた精神障害者福祉手帳での運賃割引の制度が適用されることになりました。

- 対象者 精神障害者福祉手帳(写真付)で「旅客鉄道株式会社等旅客運賃減額欄」に第一種または第二種の記載のあるものの所持者
- JR精神障害者割引制度の概要
  - 介護者とご一緒にご利用になる場合
    - 手帳をお持ちの方と介護者には、同一区間の乗車券類をお買い求めいただきます。
    - 割引となる介護者は1名です

対象者	対象となる乗車券類	割引率
第一種精神障害者と介護者	普通乗車券 普通急行券 定期乗車券(小児定期乗車券を除く)	5割
12歳未満の第二種精神障害者と介護者	定期乗車券 (小児定期乗車券を除く)	5割

2) 手帳をお持ちの方がひとりでご利用になる場合、片道の営業kmが100kmを超える場合に限りです。

対象者	対象となる乗車券類	割引率
第一種 精神障害者 第二種 精神障害者	普通乗車券	5割

割引を利用するために、手続きが必要な場合があります。

手続きが必要な手帳 ①顔写真の貼付がない方 ②旅客運賃減額の記載のない方 は手続きが必要です。ご自身の手帳の手続きが必要かどうか不明な方、利用についての詳細は、精神科患者サポート室までお問い合わせください。

(細木病院 患者サポート室

精神保健福祉士 小田優子)



【予約電話】 ☎088-873-3806 (小児科 ☎088-820-6780 / 健康管理センター ☎088-822-7264 / 北館 ☎088-802-3366)

令和7(2025)年6月予定 ※外来表は変更になる場合があります。			月		火		水		木		金		土		
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
本館1階	外科	1診	尾崎信三 (乳腺・甲状腺)		尾崎信三	担当医	中村衣世	上地一平	尾崎信三	担当医	上地一平	担当医	尾崎信三	尾崎信三	
		2診	中村衣世											高知大 中屋美咲 (第2・4週)	
	緩和ケア科 完全予約制 ☎088-873-3806		安藤 徹												
	痛みの外来(ペインクリニック)				新 細川滋俊						細川滋俊		新		
整形外科	1診	北岡和雄	担当医	三宮将典	北岡和雄	山川晴吾	担当医	三宮将典	高知大教授 池内昌彦 予約のみ	北岡和雄	柳川祐輝	高知大 喜安克仁			
	2診	山川晴吾	山川晴吾 (小児整形外科)	塩田尚史	高知大 泉 仁	塩田尚史		塩田尚史	担当医	北村亜以	北村亜以	塩田尚史			
1・3階	放射線科		耕嶋志乃	耕嶋志乃	高知大 松本知博 9:00~12:00	高知大 仰木健太 13:30~16:30	耕嶋志乃	耕嶋志乃	耕嶋志乃	高知大 大佛健介 13:30~16:30	耕嶋志乃	耕嶋志乃			
本館2階	総合診療科		矢野博子				上田祐二 (第1~3週) 白神 実		矢野博子		澤田 努 14:00~		上田祐二 矢野博子		
	一般内科		森下美智子 (リウマチ膠原病) (第1・3・5週)		松田勇蔵						松田勇蔵		担当医 (2名)		
	循環器内科 ＜ほそぎハートセンター＞		古川敦子	西本隆史	細木信吾	細木信吾	山本哲史	山本哲史	古川敦子	細木信吾	山本哲史	宮地 剛	宮地 剛	担当医	
	心臓リハビリテーション科		岸之上隆雄	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香	西本美香		
	呼吸器内科		白神 実	小林 誠			小林 誠		白神 実		小林 誠		白神 実		
	糖尿病・内分泌内科		熊谷千鶴	西岡達矢 予約再診のみ	高知大教授 西山 充 (甲状腺外来)	熊谷千鶴	西岡達矢	西岡達矢	熊谷千鶴	西岡達矢 (甲状腺外来)	篠原雅幸	篠原雅幸	熊谷千鶴	高知大 田口崇文 (甲状腺外来)	
	腎臓内科								矢島愛治		高知大 櫃尾 岳		新		
	小児科	1診	細川卓利	堂野純孝	堂野純孝	堂野純孝	中岡祐子	堂野純孝	中岡祐子	中岡祐子	細川卓利	細川卓利	堂野純孝	午後も 診察あり	
		2診	齊藤由実	齊藤由実 ~16:00	藤枝幹也	藤枝幹也	高知大医師	高知大医師	竹内愛那	竹内愛那	竹内愛那	堂野純孝	堂野純孝	午後のみ診察 細川卓利 ~15:00	
		3診							中岡祐子 4F予防接種		竹内愛那 (小児アレルギー外来) ~15:00		堂野純孝 ~14:30		
神経小児科 予約制 ☎088-820-6780		細川卓利								細川卓利		午後のみ診察 新井淳一 ~15:00(月2回)			
小児専門外来 (低身長・甲状腺等) 予約制 ☎088-820-6780						新井淳一		新井淳一		新井淳一		新井淳一			
小児こころの外来 完全予約制 ☎088-820-6780						中岡祐子				中岡祐子		島崎真弓 中岡祐子			
本館4階	脳神経外科				栗坂昌宏 (検査)		高知大教授等		栗坂昌宏		栗坂昌宏				
	耳鼻咽喉科		兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光	兵頭政光
	泌尿器科		矢島愛治		あした 蘆田真吾		あした 蘆田真吾		矢島愛治		矢島愛治		矢島愛治		
本館5階	健診・人間ドック (健康管理センター) 完全予約制 ☎088-822-7264		森下延真	松田勇蔵	森下延真	森下延真	森下延真	森下延真	森下延真	森下延真	森下延真	森下延真	森下延真		
	乳がん		中村衣世						中村衣世		尾崎信三		担当医		
本館6階	美容皮膚科 予約制 ☎088-822-7211		三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	※ピーリングを除く再診の 施術(2回目以降)のみ		三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	三好みちよ	※問い合わせ ください	
	内視鏡検査室		常風友梨 (大腸内視鏡)		上田祐二		弘瀬祥子		弘瀬祥子	高知大教授 宮地英行	弘瀬祥子	市川博源			
北館1階	歯科 完全予約制 ☎088-802-3366		細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子	細木弓子			
	こころのセンター 9:00~12:00, 13:00~16:00に こころのセンター 受診相談窓口まで お電話ください。	精神科 心療内科	初診	河野裕子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	山田眞子	
	皮膚科 / 形成外科		野田理香 ~16:30		野田理香		野田理香		野田理香		野田理香		野田理香		

細木病院5月の接遇テーマ サービス向上委員会

「後進の手本となるような接遇を 実践しましょう」